



KFP KOBE FASHION PLAZA 神戸ファッションプラザ

神戸・ベイエリアに新しい風。
4つの個性を合わせ持つ、アミューズメントタウン。



ファッション都市・神戸にふさわしいおしゃれで元気な街、六甲アイランド。ここに、ショッピング、シネマ、ホテル、アートが一つのエリアで楽しめる、今までにない複合アミューズメント施設「神戸ファッションプラザ」が今春誕生しました。

今回は、デートにもショッピングにもおすすめの同施設の魅力を、存分にご紹介します。

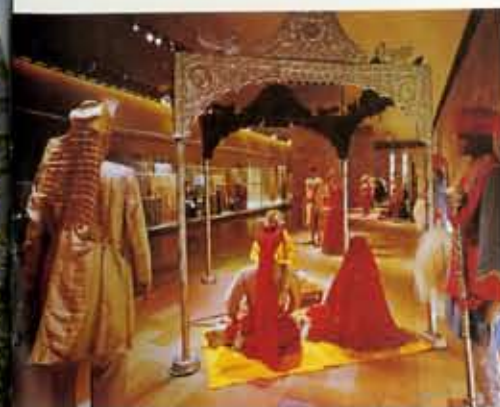
衣・食・遊・アートが集う 高感度100%のトレンディスポット

大学時代から神戸に住んでいる私にとって、新しいスポットの誕生は、とても嬉しいこと。今年3月にオープンした「神戸ファッションプラザ」は、神戸ファッション美術館、Rink、MOVIX六甲、神戸ローザンヌホテルの4つの施設の集合体です。

六甲ライナー「アイランドセンター駅」の改札口を出て、真っ先に目にするのが、空中に浮かぶUFOを模した神戸ファッション美術館のイベントホール（オルビスホール）。外観は銀色に輝き、近未来的でユニーク！ ファッションをテーマにした日本初のミュージアムは、シャネル、ボワレなど20世紀を代表す



レポーター／関根真由美



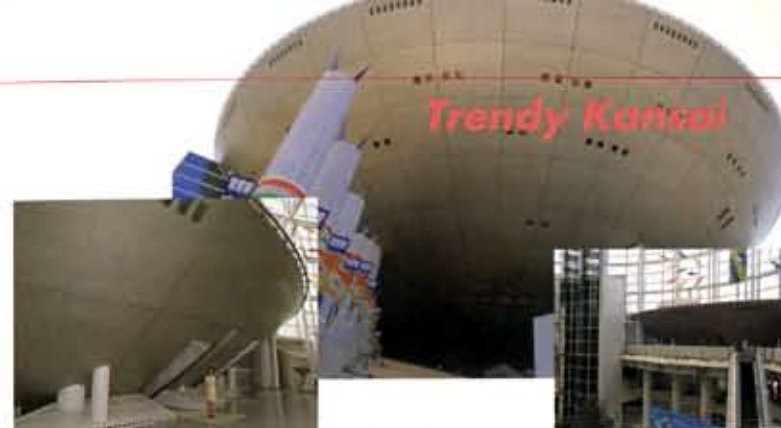
るデザイナーの衣装や18～19世紀のモード、さらにアジアを中心とした伝統的な民族衣装をズラリと展示しています。また、ファッションスクエ

アでは、4つの壁と床をスクリーンにしたマルチライドショーを上映。従来の美術館とは一味違う演出は必見です。学芸員の池田さんにお話を伺ったところ、「ライブラリーやファッション資料室、CD（コンピュータデザイン）室は、アートやファッションを目指す人たちにおすすめです」とのこと。

芸術に親しんだ次は、「Rink（リンク）」です。ここは、グルメとショッピングと映画が楽しめる、今までにない新しいタイプの複合商業施設。1階～9階には、ファッションからグルメまで全63店舗もあります。各店ともディスプレイに凝っていて、見ていて楽しくなります。早速、「神戸ファッションプラザ」の全体を運営されている（株）神戸ファッションプラザにお話を伺いました。



「Rinkのコンセプトは、『彩色生活』の提案です。つまり、いつもとはちょっと違う工夫によって“彩りを加える生活”になります。それを、神戸・六甲アイランド流の新しいライフスタイルとして、多彩に情報を発信しているのです」。



スリル満点！ 神戸初のマルチプレックスシアター

「MOVIX六甲」は、その「Rink」の9階にあります。月に2、3回はロードショーを観る大の映画ファンの私。一つのフロアに、7つのスクリーンをそろえた神戸初のマルチプレックスシアターには、以前から興味がありました。なかでも5番スクリーンは、映画「スターウォーズ」の監督として有名なジョージ・ルーカス氏が提唱するTHX館（デジタルサウンドを最高の環境で体験できる映画館）で、日本で初めての8チャンネルのデジタルサウンドを採用しているそうです。



「臨場感を盛り上げる効果に、大人のお客さまでもびっくりされるんですよ」と、マネージャーの三辺さん。私も早速、アクション映画で体感！迫力の音とクリアな映像は物語をいっそうスリリングなものにしてくれました。また、効果もさることながら、大きめの快適シートは、ドリンクホルダー付といういたれりつくせりの環境でした。映画を堪能した後は、ロビーのカフェで本格的なエスプレッソが飲めるのもおしゃれ。一日中いても興味はつきない「神戸ファッションプラザ」。今度は友達をつれて、遊びに来ようと思っています。



※神戸ファッションプラザまでは、JR「住吉駅」または阪神「魚崎駅」より六甲ライナー「アイランドセンター駅」を利用するのが便利です。